

令和3年5月25日（第4号）

自走

特別進学コース主任
平原 澄夫

私たちが目指すべき学習者像

～指示待ち型の生活から自走型の生活へ～

特進コースのHR教室には全学年共通のプリントが掲示されています。A4サイズの小さなものですが、その中には、みなさんに手本としてもらいたい学習者像がまとめられています。

社会のグローバル化が進み、私たちは、生まれた場所や文化、価値観が異なる人々と共に学び、共に働き、共に生活することは当たり前のこととなりました。そのような社会の中で、互いの違いや意見を尊重し合いながら協働して生活することはとても大切なことです。（話は変わりますが）本校における金曜日のお祈りは「聖フランシスコの平和の祈り」です。私はこのお祈りが一番好きです。

聖フランシスコの平和の祈り

神よ、あなたの平和のためにわたしを役立たせてください、
憎しみのあるところに、愛を、
争いのあるところに、ゆるしを、
分裂のあるところに、一致を、
疑いのあるところに、信頼を、
誤りのあるところには、真理を、
絶望のあるところには、希望を、
暗闇には、光りを、
悲しみのあるところには、喜びをもっていくことができますように。
慰められることよりも、慰めることを。
理解されることよりも、理解することを。
愛されることよりも、愛することを求める心をお与えください。
自分自身を捨てて初めて自分を見出し、自分自身に死ぬことによって、永遠の生命をいただくのですから。

何かに行き詰まった時は、このお祈りを思い出してみてもはどうでしょう。

みなさんは、SDGsという言葉聞いたことがあるでしょう。Sustainable Development Goalsの略称で、2030年までに貧困、環境、紛争、教育、ジェンダー等の問題を解決し、地球を守るための具体的な目標を指します。また、IB国際バカロレア（International Baccalaureate）という言葉聞いたことがあるでしょうか。IB（国際バカロレア）では、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身につけることを目標に掲げています。これらの例が示すように、社会の視点は外へ、さらに広い世界へと向けられているのです。

グローバル社会で生活する一人として、そして、グローバル社会で活躍できる人間になるためにも、心は広く、視線は外の世界へ向けていきたいものです。以下の内容は、IB（国際バカロレア）が提唱する学習者像です。私たちの「学びの手本」として常に心に留めておきましょう。

IB Learner Profile IBの学習者像（目指すべき学習者像）

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| ■inquirers 探究する人 | ■knowledgeable 知識のある人 |
| ■thinkers 考える人 | ■communicators コミュニケーションができる人 |
| ■principled 信念をもつ人 | ■open-minded 心を開く人 |
| ■caring 思いやりのある人 | ■risk-takers 挑戦する人 |
| ■balanced バランスのとれた人 | ■reflective 振り返りができる人 |

【予告】

6月7日（月）LHRの時間に「第1回特進マシュマロチャレンジ大会」を開催します。
担任の先生から配布されるエントリー用紙に必要事項を記入して、奮って参加して下さい。
先生チームも優勝を目指してエントリーします。
遠慮無用のガチンコ勝負です！
さて、優勝するのはどの学年、どのチームなのか。楽しみです！！